



＜ハッピーセットのおもちゃはリデュースとリサイクルの 2R 強化へ＞ ハッピーセット®のおもちゃにおけるプラスチックを大幅に削減

子供たちがおもちゃに夢中になって楽しんでほしいという思いはそのままに、
2025 年末までにサステナブル素材に移行完了

日本マクドナルド株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼 CEO：日色 保)は、米マクドナルド社が 9月21日(火)に発表したハッピーセットのおもちゃにおいてプラスチックを大幅に削減していくグローバルコミットメント[※] ¹に参加し、日本においても、化石資源由来の原料を新規に使用したプラスチックを 2025 年末までに段階的に削減し、サステナブルな素材を使用したおもちゃに移行します。

本方針に基づき、2025 年末までにすべてのハッピーセットのおもちゃを再生可能な素材、リサイクル素材もしくは認証された素材など、サステナブルな素材へ移行し、2018 年に比べ、化石資源由来の原料を新規に使用したプラスチックの量を約 90%削減します。日本において 1987 年にハッピーセットの前身である「お子さまランチ」が発売されてから、常に大切にしてきた“子供たちに夢中になって楽しんでいただきたい”という思いは今後も変わらず、魅力的なおもちゃを開発してまいります。例えば親子のかけがえのない時間の創造につながるようなボードゲームや、子供の創作意欲を掻き立てるようなペーパークラフトのおもちゃ、ごっこ遊びで想像力が広がるぬいぐるみのラインナップなどでは、子供たちに夢中になって楽しんでもらうことはもちろん、“遊び”や“体験”を通じて子供たちの成長と発達をサポートするという役割も引き続き担っていただけるものと確信しております。また 2025 年末までの移行期間の中で、これまで以上にお客様の声に耳を傾け、より時代に合った価値を提供できるよう進化し続けて参りたいと考えております。

また、日本では各国のマクドナルドに先駆けて 2018 年より、遊ばなくなったおもちゃを店舗で回収しトレイにリサイクルする「マックでおもちゃリサイクル」(以下「リサイクル」といいます)も実施しており、2020 年は年間で約 270 万個のおもちゃを回収するなど非常に多くのお客様にご参加いただいております。リデュースについても、2018 年からハッピーセットのおもちゃの選択肢として絵本もしくは図鑑が選べるようになっておりますが、今後はリサイクルとともに、おもちゃのプラスチック使用量削減(リデュース)にも積極的に取り組むことで、2R(リデュース/リサイクル)の両面で環境に配慮してまいります。

マクドナルドは、変化する社会やお客様のニーズに柔軟に対応し、進化を続けます。そして、持続可能な社会の実現に向けて取り組みながら、「おいしさ笑顔を地域の皆さまに」ご提供してまいります。

*1:グローバルコミットメントはこちらをご参照ください。

グローバル発表の URL :

<https://corporate.mcdonalds.com/corpmcd/en-us/our-stories/article/press-releases.happy-meal-toys.html>

＜一般のお客様のお問い合わせ先＞

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>